

【雫石町】
校務 DX 計画

1 現状

国が公表した「GIGA スクール構想の下での校務 DX チェックリスト」（文部科学省令和 5 年 11 月実施）に基づく自己点検結果では、当町の学校現場においてクラウドサービスを十分に活用できていない状況や、ペーパーレス化が浸透していない状況が見受けられた。

しかし、令和 6 年度からは町立小学校にて岩手県クラウド版統合型校務支援システムの運用を開始し、徐々にではあるが校務での利活用も浸透している。また、町立中学校では、現在スズキ教育ソフトの校務支援システムを利用しているが、令和 8 年度からは町立小学校と同様の岩手県クラウド版統合型校務支援システムの利用開始を予定しており、今後も、校務の円滑化・効率化の観点から、教職員への周知や DX 化に向けた取り組みをより加速し、教育委員会及び学校全体での改善を推進していく。

また、次世代型校務支援システムについては、現在共同利用しているシステムの延長上に見据えながら、全市町村が参加する学校教育 DX・学力育成協議会及び作業部会であるワーキンググループで検討していく。

2 「校務 DX チェックリスト自己点検結果」における課題等について

国の支援も活用し、取り組みが進んでいない学校の課題把握及び支援の徹底を図る。また、校務 DX を促進する観点から、以下の 3～6 に掲げる取り組みを進める。

3 文書のデジタル化によるペーパーレスの促進

電子メールや汎用クラウドツールを活用し、会議資料や保護者への連絡、学校間での文書をデジタル化することで、ペーパーレスによるコスト削減や業務の効率化を図る。

4 FAX・押印等の制度・慣行の見直し

自己点検の結果から、対象の 6 校全てで FAX を利用しており、押印・署名が必要な書類も多くある。FAX や押印等について、FAX での送付や押印を求めている関係団体、事業者を把握し、制度・慣行の見直しについて検討する。

5 校務支援システムへの名簿情報の入力

本町で導入している校務支援システムは、児童生徒の情報登録を手作業で行うことも可能であるが、データファイルを取り込んで登録することも可能である。不必要な手入力作業を一掃するため、登録方法の周知や、ICT 支援員による登録作業の支援を継続して行う。

6 教育情報セキュリティポリシーの策定

教育 DX が進展する中で、教育委員会及び学校に必要とされるセキュリティ対策は高度化し、重要度を

増している。また、行政事務と異なり、学校教育の現場においては、教職員や児童生徒が守るべき情報資産に触れることから、自治体の情報セキュリティポリシーとは別に「教育情報セキュリティポリシー」を策定することで、GIGA スクール構想に基づいた教育環境を整備する。